

落札者決定基準

健康長寿医科学センター開設準備室企画課

1 基本的な考え方

落札者の決定にあたっては、安い価格で入札した事業者を選出するのではなく、技術力、性能、機能等の提案内容を合わせて総合的に評価する「総合評価一般競争入札方式」を採用する。この方式により、業者間の競争が働き、法人にとって最も有利な事業者を落札者とすることができる。

評価にあたっては、公立大学法人大阪が定める「総合評価一般競争入札にかかる提案審査委員会」（以下、「提案審査委員会」という。）において落札者決定基準を定め、それに基づいて提案者を評価し、総合評価点の最も高い者を落札者とする。

2 評価の内容

（１）技術の評価

「機能の評価」と「提案の評価」を合わせて技術評価点とする。

- ・ 「機能の評価」・・・「様式 2.1 システム機能に対する要求事項の回答書」（400 点）
「様式 2.2 業務委託内容への加点項目の回答書」（100 点）
- ・ 「提案の評価」・・・「資料 2-3 プレゼン評価項目」（100 点）

（２）価格の評価

「価格の評価」（300 点）は、入札書に記載の金額に対する評価。

（３）総合評価の方法及び落札者の決定方法

- ① 「技術評価点」及び「価格評価点」の合計点数（総合評価点数）が最も高い者を落札者とする。

総合評価点 (900点満点)	=	技術評価点 (機能500点+提案100点)	+	価格評価点 (300点)
-------------------	---	--------------------------	---	-----------------

※「技術評価点」及び「価格評価点」の算出にあたっては、小数点以下 1 桁までを有効とし、小数点以下 2 桁目で四捨五入する。

② 最高得点者が 2 者以上ある場合

- ア 技術評価点が高い者を落札者とする。
- イ 技術評価点、価格評価点ともに同点の場合は、「様式 2.1 システム機能に対する要求事項の回答書」の C 回答の数が少ない者を落札者とする。
- ウ 技術評価点、価格評価点が同点かつ「様式 2.1 システム機能に対する要求事項の回答書」

- の C 回答の数が同じ場合は、入札書記載金額の低い者を落札者とする。
- エ 技術評価点、価格評価点が同点かつ「様式 2.1 システム機能に対する要求事項の回答書」の C 回答の数が同じで、入札書記載金額も同額の場合は、くじで落札者を決定する。

3 技術評価点

(1) 機能の評価

① 評価点の考え方

表 1 様式 2.1 システム機能に対する要求事項の回答書

回答	評価点	評 価
A	4 点	<u>入札金額の範囲内で対応可能</u>
B	2 点	<u>入札金額の範囲内で代替案の提示が可能</u> A では対応できないが、他施設での事例を基に、実現が可能な運用案を提示できる。 具体的な代替運用方法を「対応方法」の欄に記載すること。 ※別紙での添付も可
C	0 点	<u>対応不可</u> A・B のいずれの方法でも対応できない場合。 (提案がない又は記載がない場合は C とみなす。)

表 2 様式 2.2 業務委託内容への加点項目の回答書

回答	評価点	評 価
A	4 点	<u>対応可能</u> 技術的、法的、運用的に実現可能な場合。
B	2 点	<u>一部対応可能かもしれない追加費用で対応が可能</u> 上記の場合は「対応方法」欄に具体的に記載すること。 追加費用が発生する場合には金額を記載すること。
C	0 点	<u>対応不可</u> A・B のいずれの方法でも対応できない場合。 (提案がない又は記載がない場合は C とみなす。)

- ・ 「様式 2.1 システム機能に対する要求事項の回答書」及び「資料 2-4 プレゼン採点表」の合計点の 6 割未満は失格とする。
- ・ 回答内容については、ヒアリングを求める場合がある。

② 機能評価点の計算

「様式 2.1 システム機能に対する要求事項の回答書」(400 点)

$$400 \text{ 点} \times \frac{(A \text{ 回答項目数} \times 4 + B \text{ 回答項目数} \times 2 + C \text{ 回答項目数} \times 0)}{\text{総回答項目数} \times 4}$$

「様式 2.2 業務委託内容への加点項目の回答書」(100 点)

$$A \text{ 回答項目数} \times 4 + B \text{ 回答項目数} \times 2 + C \text{ 回答項目数} \times 0$$

(2) 提案の評価

① 評価方法

提案内容の評価は、企画提案書の内容及び別途実施されるプレゼンテーションの内容に基づき、提案審査委員会の委員が評価する。

② 評価点の考え方

- ・ 委員は、「資料 2-4 プレゼン採点表」を参考に、評価を行う。
- ・ 評価項目の採点は A 20 点、B 15 点、C 10 点、D 5 点の 4 段階で評価する。

③ 提案評価点の計算

$$\text{提案評価点} = \frac{\text{委員の採点合計}}{\text{委員の人数}}$$

4 価格評価点

① 評価方法

入札書記載金額に応じて点数化する。

② 価格評価点の計算

$$\text{価格評価点} = 300 \text{ 点} \times \left(1 - \frac{\text{入札価格}}{\text{予定価格}} \right) \text{ ※税抜}$$